



## 地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ

校長 有本 勝彦

6月9・10日(木・金)、6年生の修学旅行を実施しました。方面が県内(新潟市・燕市・長岡市)であることと新型コロナウイルス感染の広がりが比較的落ち着いている状況から、感染予防を徹底して実施しました。一部、雨に降られる時間帯もありましたが、おおよそ全行程、けがや体調不良なく無事に行ってくることができました。はじめて訪れた場所やはじめて見たものを前に目を輝かせながら生き生きと活動したり、体験学習に真剣な眼差しで臨んだりする、そんな子どもたちの姿がとても印象的でした。6年生にとって、貴重で素晴らしい思い出の1ページになったことと思います。この修学旅行に際し、保護者の皆様からは修学旅行実施へのご理解と健康管理や持ち物の準備など様々な面でのご協力を賜りました。また、実施に関わって様々な関係者の方々からご支援やご配慮をいただきました。多くの方のご厚意によって修学旅行を実施できたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、春から夏にかけてのこの時期、他の学年も校外での学習活動を活発に行っています。1年生は久知八幡宮や正覚寺といった学校周辺の様子を知る学習に取り組んでいます。2年生は佐渡汽船ターミナルや両津図書館を訪問して、主立った施設をもとに地域についての理解を深める学習に取り組んでいます。3年生は河崎小学区を探検する学習で、姫崎灯台や旧両尾小学校への見学を通して学区の広さを実感し、学校近くの下久知地区や住吉地区についてじっくりとお話をお聞きしました。4年生は学校の横を流れる久知川に関わって、ホテルの会の方からお話を聞いたり環境調査を体験したりしました。5年生は米作り学習でJA職員を講師にお迎えしてお話を聞き、実際に田んぼで苗植えをしました。

自分の生まれ育った地域だから、自分の通学した学校の校区だからといって、自然にすべてのことが分かるようになるわけではありません。むしろ、身近にあっても出会うことがなかった「モノ」や調べることのなかった「コト」が、隠された宝物のように、子どもたちの周りにたくさんあります。そういった宝物が、これまでこの地域を守り支えてきた熱い思いをもった「ヒト」を介してつながったときに、子どもたちは目を輝かせて学んでいるように感じます。そのような熱い思いをもった方々が、前述のような校外活動を支えてくださっていることを、心から有り難いと思います。

自分の住む地域への理解を深めていく中で、地域のよさを実感して愛着を感じ、誇りをもつ子どもを育てたい。そしていつか地域の未来を背負い発展させていく人材に育てたい。そんな思いを保護者や地域の皆様と共有しながら私たち教職員も学びつつ、日々の活動に邁進します。今後とも河崎小学校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。